

広告がつくる

あす 未来の景観

景観に配慮した広告物の表示に向けて



姫路市では、良好な景観の形成及び風致の維持を目的として姫路市屋外広告物条例を定め、屋外広告物の種類や設置する地域に応じて規制を行っています。

近年では、市民・事業者の皆様の景観に対する意識も高まっており、広告主の自主的な取り組みによって、周辺景観と調和するよう配慮した屋外広告物を設置する事例が増えてきました。

この度、景観配慮の事例を紹介するとともに、配慮のポイントを取りまとめましたので、屋外広告物を表示する際の参考としてお役立てください。



長大な壁面を有する建物において、上層部での表示は控えるとともに、各テナントの広告物の大きさと地色を建物の基調色の一つである白色系の色彩で統一することで、建物のデザインを損なうことなく表示しています。

建物と 調和させる

建物全体としての一体性を考慮し、建物の形態・意匠、規模などに応じて広告物の設置位置や色彩・規模・意匠などのデザインに配慮してください。



ガラスのカーテンウォールが大半を占める壁面において、各テナントの広告物の大きさと地色を建物の基調色の一つである白色系の色彩で統一し、集合化させることで、建物のデザインを損なうことなく表示しています。



オフィス街

オフィス街にあるシンプルな建物と調和するよう、壁面上部に箱文字で表示しています。



歴史的な町並み

町家と調和するよう、筆文字の木製看板やのれんによって表示しています。



工業地域

工業地域では大規模な建物が多く、単調・長大になりがちな壁面においてアクセントを与えています。

周辺景観と 調和させる

姫路市にはオフィス街や歴史的な町並み、工業地域や田園地域など多様な景観があります。周辺景観に与える違和感や雑然さを軽減させるとともに、周辺景観と調和した広告物となるよう広告物の設置位置、大きさ、素材、デザインに配慮してください。



山あいや田園地域

背後に広がる山並みや田園風景と調和するよう、自然素材を使用しています。

集合化する

複数の広告物を同時に表示する場合は、一つの広告物に集約しレイアウトを統一することで、すっきりとわかりやすい広告物になるよう配慮してください。



壁面には企業名とロゴのみを表示し、ガラス壁面には、内窓広告等を控えてすっきりした印象を与えています。



複数のテナント名を一つの建植広告物にまとめることで、すっきりした印象を与えています。



色数や設置数・規模を抑える

使用する色彩が多くなると、雑多で見にくい印象を与えます。色数を絞ることでシンプルで見やすく、過剰な表現にならないよう注意しましょう。また、規模が大きくなり過ぎたり掲出する数が多くなり過ぎると、景観を乱すことにもなりますので、数量・規模等を抑えて表示することで、周辺景観や建物との調和に配慮してください。

夜間景観を演出する

広告物には魅力的な夜間景観を演出する役割も期待されています。間接照明を用いる等、夜間景観の演出に配慮してください。



間接照明を用いてライトアップされた広告物が、落ち着いた夜間景観を演出しています。

この他にも…

文字(図)色と地色を反転する

コーポレートカラーとして地色に鮮やかな色彩が用いられている場合、配色を反転することで企業イメージを保ちながらも周辺景観に与える影響を軽減させることができます。

文字サイズのバランスを考える

大きい文字や太い文字はインパクトはありますが、雑多で見にくい印象を与えます。文字サイズを適度に抑え、余白を生かすデザインにすることで、スタイリッシュな印象を与えます。

素材の色・質感を生かす

木材や金属などが持つ素材の色や質感を生かし、照明なども工夫することで、より景観と調和させることにつながります。

[問い合わせ先]

姫路市まちづくり指導課
(都市景観指導室)

〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地
TEL.079-221-2541 FAX.079-221-2757

姫路市ホームページでも事例を紹介していますので、是非ご覧ください

姫路市 景観配慮広告物

検索

